

2017年10月13日（金）書き始め～

2017年10月26日（木）完成

「題：俺の考え」「副題：岡本悠35歳のエッセイ集」 著：岡本 悠

- 1、題、目次
- 2、はじめに
- 3、怒りの抑止力としての座禅
- 4、女性について
- 5、最近の私の生活
- 6、仕事を辞めた後、私が挑戦した事
- 7、2017年の、今年の読売巨人軍について
- 8、私の野球ゲーム、パワプロについての話。
- 9、自分に配偶者、子供がいたらスポーツ選手にしたか。
- 10、人生の勝者・敗者で敗者。
- 11、サッカーについて。
- 12、プロレスについて。
- 13、巨人軍の低迷は、坂本勇人君のせいではない。
- 14、音楽（歌手）等について
- 15、何の為に生きているのか、見いだせない事について
- 16、読書について
- 17、未来について
- 18、人は哀しい物。
- 19、過去について
- 20、今（現在）について
- 21、もし私が監督で、采配の答えを知っていたら。
- 22、現状維持に走る若者
- 23、スマホ（スマートフォン）について
- 24、腹筋について
- 25、厳しい人について
- 26、ボクシング・村田諒太選手からもらったもの
- 27、スポーツについて
- 28、エロ、スイッチ
- 29、2017年、プロ野球、ドラフト会議について
- 30、クライマックス・シリーズ（C・S）について
- 31、母が歳を取る事について
- 32、おわりに

2017年10月13日（金）書き始め～

2017年10月26日（木）完成

「題：俺の考え」「副題：岡本悠35歳のエッセイ集」 著：岡本 悠

## はじめに

最後の仕事を辞めてから、1年と4か月位になる。

ただ、今は、この会社の上司と月に1、2回はお会いしてもらって、1時間程スポーツの話等を中心に話したりしている。

私は、今35歳だから、昨年の6月の誕生日の34歳位に仕事を辞めた。

本当の意味の「自由」というのは、全ての自分の貯金がなくなっても、自分で作り出せるような人を言うのかもしれないが、これは究極の人だと思う。

例えば、柔術家のヒクソン・グレイシーという人は、全てのお金を失っても、自分に柔術という技術があるから、道場を開けば、お金に困らないのかもしれない。こういう人を「自由」を手に行っていると言えるのだろうか。

私は、35歳になるが、金銭的には「自立」をしていない。

ただ、会社や職場という中で働くのは、無理である。

1、人間関係

2、自由な生活だけをしたい

3、やりたくない仕事をしたくない・・・等

これが、私が仕事を辞めた時の理由だった。

これを聞いたら

誰だってそうだ。とか、甘えるな。と言われるかもしれないが、

私の人生は私が決める。

昔、18歳位～しばらく、私はホームレスになったら、どうしよう。と不安神経症に陥った35歳の今は、なる可能性もあるかもしれないが、大丈夫だろう。と自然と思えるようになった。

本を読んだりすると、ホームレスの人達も、縄張り争いもあつたりで「自由」ではあるようだが、大変らしい。

まあ、私は深く考えないようにしている。

甘くないが、なつたらなつたで、受け入れてホームレスの生活をしていくしかないと思うのだ。

私は仕事を1年と4か月前に辞めてから、できるだけやりたい事に挑戦して、HPからお金を作れないか、とか考えたが、結論から言うと、お金を稼ぐビジネスは向いていなかった。

これもむしろ、お金が発生しない方が、自分勝手な事をあれこれ書ける（悪い事はいけないうが）と思った。お金を意識して何かを書こうとする程縮こまってしまうのだ。

では、まえがきはこの辺にして、改めて自由に思いつくまま、エッセイを書いていきたいと思う。

## 怒りの抑止力としての座禅

私は、どうしても怒りやすい、キレやすい人間だ。

私だけではないかもしれないが、人一倍、感受性が強いのか？

それとも何か我慢する部分が弱いのか？

そこで、最近やっているのが、

「怒りの抑止力としての座禅」である。

怒りを鎮（しず）めるには、「座禅」がいいという事は、私は見た事も聞いた事もない。

これは、私が考えた1つの方法で確信はない。

ただ、怒りやキレル事に対して、何も対策を講じないと、そういうタイプの人は、「ガチャン！」とやってしまう可能性がある。

私も、今年大きい中では1回キレテしまった。

その時は、「座禅」を普段からしていなかった。

対策を講じていなかったのだ。

改めて説明すると、「怒りの抑止力としての座禅」なのだ。

私は、タイマーで1日15分、飽きない様に、足を組み替えながら、面倒な日もある中、「座禅」をしている。

とにかく、怒りやキレルを放っておけば、また、反省もなく繰り返してしまうものだ。

刑務所に入るとか、血を見る事になってしまう・・・等。一番悲しい。

効果があるかは全くわからないが、「座禅」で腹式呼吸をする事によって、自分を見つめるという作業が、もしかしたら、効果があるかもしれないと思っている。

そして、「座禅」をやっているのだから、その瞬間が来た時、

「俺、座禅を日頃からやっているのに、報われないのはズルイでしょ神様。」

と思えると思うのだ。

つまり、「座禅をやっているから、怒りやキレルは制御できるはず、抑えられるはず」という、ちょっと強引な考え方だ。

ただ、今日、この文を書いているから、丁度良かったが、私は最近、ずっと「座禅」を続けていたが、KFC（ケンタッキー・フライド・チキン）の若い女性店員が、細かくは書かないが、あえて私の方を見ないで、他の店員と相談しているように見えてしまい（これも彼女は普通に会話しただけなのだが、私を感じすぎる、感受性が強すぎる為に）カベを蹴りた位になってしまったので、「座禅」をしたからといって、「確実に大丈夫です」とは言えない。他にも数えればいくらでもあるし。ただ、私が、会社に行かないから耐久性がないかというそれは違う。会社の同僚に怒り、キレたりがもっと酷かった。だから、多分一概に社会性がないから耐久性がない、とは言えないと思う。私が会社を辞めた理由の1番手が人間関係だったからだ。隠れている方がトラブルは少ないという見方もできると感じる。

「座禅」でなくてもいいが、怒りやキレルに対する抑止力の習慣があるといいかも。

## 女性について

気分転換に女性について書きたいと思う。

私の街にも名前は知らないが、いろいろな美人やかわいい女性がいる。

- ・ドラッグストアの、巨乳で、身長の小さい、美人の女性。
- ・チラシ配りの、白い美人の女性。
- ・マクドナルドの「きつねさん。」
- ・マクドナルドの「たぬきさん。」
- ・マクドナルドの「骨さん。」
- ・ケンタッキー・フライド・チキン (KFC) の「まるちゃん。」
- ・ロイヤルホストの「女性陣。」
- ・業務スーパーの「中国人の女性。」
- ・郵便トラックの助手席の女性。      ・ ・ 等だ。

芸能人では、宮里藍ちゃんは好きだし、  
井川遥も好きだし、  
長谷川京子も好きだし、  
倉木麻衣も好きだし、  
唐田えりかちゃんも好き ・ ・ 等だ。

フェチは、女性の脇（ワキ）だ。  
顔もやはり好きだ。

女性のネタがなくなったので、好きな男の選手。

読売巨人軍（ジャイアンツ）の  
坂本勇人、長野久義、亀井善行、杉内俊哉、ケーシー・マギー、松井秀喜（元）

他のチーム

野村祐輔（広島）、ルイス・クルーズ（楽天）、松井稼頭央（楽天）

サッカー

遠藤保仁、三浦知良、酒井高德、本田圭佑、長谷部誠、内田篤人、デイヴィット・ベッカム

プロレス（WWE の）（ワールド・レスリング・エンターテインメントの）  
カイリ・セイン（女性・日本人）、男はキリがないので除く。

## 最近の私の生活

会社を辞めて1年と4か月程、  
私の生活はほとんど、定年退職して暇になってしまった人と変わらないかもしれない。  
ただ、私は今の生活に満足している。

ある程度の「自由」は掴んでいるから。

ただ、私も自分がある程度、せしめないといけないと思っているので、

- ・義務作業
- ・義務趣味
- ・趣味

といった大まかに3つに分類してやる事を決めている。

義務趣味：「プロレスコラム」を書く作業。週約4、5枚（約1日、1枚A4サイズ中心。）

義務趣味：座禅、筋トレ、足上げ、（ダルイ時は、ラジオ体操も。）

趣味：読書、ゲーム、日記、詩、コラム書き、テレビ、HDD、CD・・・等、だ。

そして、週3に1回の用事と、月1、2回の上司との話し合いがある。

睡眠に関しては、夏は眠れずに、朝方に起きたりしてメチャクチャだった。

ただ、1回を除いて、用事の日は、全て寝坊や遅刻をしないで行けた。

自分はある程度「絶対起きる」とか根性論で追い込んだ方が良さそうだ。

だが、最近、秋、冬になってくると、きちんと深夜0時～それ以降に寝ても、朝、目が覚めてしまったりする。

夕方眠くなって、仮眠を取ってメチャクチャになってしまう事もある。

寒くなってくると、どうも休もう、怠けようという所に私は行ってしまう。人間はどうせ死んでしまう。だから、それも正しい。それはいいとして、

だから、私はテレビとベッド（布団）には、気をつけている。ベッドに横になってテレビをつければ怠けが始まると思っている。

ただ、睡眠の方は、何もやる気が起きない時はまだ寝たりないという事があるような気がする。朝、例えば6時とか8時に起きて、ゲームもしたくない、ラジオ体操もなんか違う。でも、目が冴えてしまう。こんな時は寝たりないと思って、寒さも含めてもう一度布団にもぐって寝た方がいいと思っている。

普段の、昼の食事は、月・水・土・日がマクドナルド。

火・木 がロイヤルホスト。

金 がケンタッキー・フライド・チキン（KFC）

夜の食事は、毎日、玄米おかゆ。

夜食は、カップラーメン、トウモロコシ、リンゴ（みかん）、

おにぎり、コーヒーゼリー、プリン等だ。

コーヒーは1日4杯位飲む。

仕事を辞めた後、私が挑戦した事

まず、私は「プロレスコラム」というものを書いているのだが、電子書籍の kindle という本で登録して、「プロレスコラム」とは別に、10枚位書いて出したが全く売れなかった。漠然とこれで売れていけばいいとは考えたが、甘くはなかった。

その後、音楽のメトロノームと歌声だけで、HP（ホームページ）で、アルバムを作った。その後、BEST 盤4枚組も出した。これはお金になるものではないが、とにかく今までの自分の頭の中にある音楽を全部表現できたので満足している。だが本当は、ちゃんと楽器やシンセサイザー等の編曲をして出さなくてはいけないところだったが、メトロノームと歌声だけにした。家が狭いので楽器を鳴らす事ができないし、シンセサイザーも使い方がよくわからないし、音楽に夢中になって時間を取られるのも嫌だった。

私の中で、とにかく好きな事をしてビジネスをして（お金を）稼がないといけないかな、という漠然としたものはあった。

最後に挑戦したのは、今までの HP で書いた「プロレスコラム」の2011年、2012年、2016年、2017年を、修正して、本にして売るという事を考えた。しかし、もうやる以前から、本や自費出版をするだけでどれだけの赤字になるかも計算できた。恐らく1冊も売れないで終わったと思う。これはやってみないとわからないのでは？という事ではなかった。昔、CDをインディーズの自費出版で出したが、営業活動を全くしなかった為売れなかった。実家にダンボールの束で溜まっている。今回やっても同じになる。

というわけで、「プロレスコラム」と「音楽」と「本」等の、HP（ホームページ）でやっているものは、お金を作る事ができず、無料のものだ。ただ、今、私は、本当に無料の方がいいと思っている。お金がかかれば、誰も見に来る人はいないだろうし、無料ならば、読んでくださる人がいるからだ。

商売に慣れていないから、お金をもらって書くとか売るという事も向いていないと思う。

ただ、私はこれから、義務趣味として「プロレスコラム」は、多分、楽しみながら書いていけると思うが無料だし、音楽コーナーも本コーナーも無料。

自分のやりたい事で稼ぐという考えは、もう既に諦めてしまっている。かといって、どこかで働くという事はしない。

今は自分の生活リズムを大切にしている。

最近、職場を辞めてから、上司と月に1、2回お話をさせていただいている。それは挑戦した事というよりも、上司が私の事を気遣って、1人だけの孤立した生活をしないようにしていただいた事だ。大変、感謝している。

そこで、いろんな、難しい大事な書類を読んでいただくとか、私の生活の話や、雑談として、私の好きなスポーツの話等をさせてもらっている。

だから、今はお金を稼ぐ事を考えないでいいと思う。それが一生だとしても。まずは、生活を気分よく送れる事がいいと思う。とまあ、1年半で少しはチャレンジしたものだ。

## 2017年の、今年の読売巨人軍について

本日の新聞、(10月14日現在)において、巨人の村田修一選手が戦力外通告を受けた。去年は3割25本という成績をあげながら、サードに助人のケーシー・マギーを獲得した為、今年は当初は、代打専門という使われ方をされていた。

ただ、打線を強力にする為に、サードからセカンドにマギーをコンバートした事で、村田はサードを守る事ができるようになった。

今回の戦力外通告も、若手にチャンスを与える為、等と書いてあったが、ネックは村田が巨人の生え抜き選手ではない事も挙げられるのではないかと。同じように、阿部慎之助は生え抜きだからこそ、恐らく戦力外通告はされないと思う。

巨人は今度のドラフトで、果たして清宮幸太郎を狙いに行くのだろうか？そして獲得できるだろうか？それとも投手を取りに行くのか？いずれにしても抽選で外してもいいから、清宮を取りに行ってみよう。そうすれば外しても、巨人とプロ野球人気はそれだけで盛り上がると思う。

さて、今年の巨人は4位に沈み、優勝どころか、CS(クライマックスシリーズ)の進出すら逃した。

1番の元凶は、広島に勝てない事と、今シーズンの13連敗といった辺りだろうか。

開幕戦では、1番・中井、2番・立岡、そして岡本もスタメンとフレッシュなメンバーで戦いロケットスタートをきった。その打順を変えていくうちに負けが込んできたようにも見えた。私の好きなルイス・クルーズも外国人枠の都合で、楽天に移籍してしまった。

終盤の打順、1番・陽、2番、マギー、・・・という打順にしてからは、打線が強くなった。後半戦だけでも、借金を返済したという事はこのオーダーと戦い方をすれば、来年は首位を狙えるかもしれない、とも思えるがそんなに甘くはないだろう。

投手は菅野、マイコラス、田口、畠と4枚が出来てきた。あと2枚の先発投手陣をどうするか。来年も抑えはマシソンとカミネロで行くのか。

打線では、1番・陽が定着した為、長野がもう1番を打たなくなって6,7番を打つという状態になってきている。3番・坂本はいいが、来年も阿部は4番なのか、ただ、阿部以外4番を打てる人材がいなければ阿部でいくしかない。亀井も使っていた方がいい。センスは抜群なのだから。

そう考えていくと、私は、今シーズン巨人戦のハイライトや、土・日等の中継を見ていた割には、こんな試合があった、という印象に残る試合がない。昨日もテレビでやっていたが、亀井の、前を打つマギーの3打席連続敬遠の後のサヨナラホームランは良かったが。

高橋由伸監督も、来年は村田もいないし、若手を育てる事が1番大きな事になりつつある中で、優勝をするという事はかなり難しいシーズンになるかもしれない。

捕手でも宇佐見という天才的なバッターが、小林のライバルになりそうだ。

私が望むのは、巨人はCS進出ではなく、リーグ優勝、そして日本一という事になる。

私の野球ゲーム、パワプロについての話。

私は、昔からよくゲームをやっていたせいか、最近も PS-VITA という、テレビゲームではなく、ポケットサイズのゲーム機で、パワプロ（略）という野球ゲームをしている。

しかし、私は昔から、コンピューター同士の試合を観戦しているのが好きなので、自分ではプレー（操作）していない。

私は、先発投手と打順と、ベンチ入り、1軍・2軍を決めるだけだ。ただ、それで多少本気になる。

巨人を取ってプレーしているが、2016年のゲームの為、2015年のヤクルトが強い頃のデータが反映されている。

私の巨人がどれだけ勝ってもすぐ後ろに2位でヤクルトがいる状態だ。ちなみに3位とは14ゲーム差位離れている。（オールスターが終ってしばらく現在。）

ただ、観戦モードだとちょっと成績が傾いてしまう傾向がある。

巨人・菅野は投手3冠を独占しているが、

野手の方はホームランを20本以上打っているのが、阿部、長野、レアード（マギーの替わり）、の3人これはいい。10本以上も亀井、坂本とこれもいい。

ただ、打率が1割台、2割そこそこの選手だらけなのだ。だから試合をしてもほとんどが、より1-0に近いような試合ばかりなのだ。

3割を打っているのは、立岡だけ。ただ、ホームランは0本である。

打順は、1番・長野、2番・亀井、3番・坂本、4番・阿部、5番・レアード、6番・ギャレット（村田）、7番・クルーズ、8番・投手、9番・立岡。

これを使っていたが、全く繋がらないが、9番に唯一3割を打っている立岡を置く事で成功した例も多い。

最近では、替えて、

1番・坂本、2番・立岡、3番・亀井、4番・長野、5番・阿部、6番・レアード、7番・ギャレット（村田）、8番・クルーズ、9番・投手。

最近では、こっちの方がじっくり来ている。

投手は、先発は、菅野、マイコラス、吉川が既に10勝している。すぐに怪我してしまうが、杉内は絶好調の時に出す。山口俊は最近、広島・野村と8回まで両者完全試合をしていたが、巨人・クルーズが野村からヒットを打つと野村は交代。しかし、山口俊は完全試合ペースのまま11回表に、巨人が1点を取り、後は完全試合を延長で見られるかもと期待したが、なんとコンピューターが山口俊を澤村に代えてしまい、延長の完全試合は消えた。

まるで、本物のプロ野球の日本シリーズで、中日の山井の完全試合ペースを9回から、岩瀬に代えたようなものだ。今年の巨人でも6回まで完全ペース？の内海を代え、継投で完全試合したようなものだ。まあ、ゲームの澤村は2塁打を打たれて危なかったのだが。

私は、この巨人軍であまり怒らずに、優勝そして日本一に輝きたいと思っている。



自分に配偶者、子供がいたらスポーツ選手にしたか。

最近は、もう結婚して、配偶者を持つ事は無理だし、ないと思っているので、普通に考えて子供を持つ事もないわけだ。

で、これも最近は考えないが、私に子供がいたら、何か特定の職業につくように育てるだろうか？と以前までよく考えていた。

ただ、結婚をしないと思っていたので、想像の中で漠然と想像していただけだ。

で、それは、私が何かのスポーツ選手。例えば、プロレスラー、野球選手、サッカー選手・・・等に自分ではなれなかったから、(というわけではないのだが)子供がなったら面白そうだ。と考えていた。

しかし、特にスポーツ選手の場合、いつ怪我をしてしまうかわからない。事故で死んでしまったり、大怪我をする可能性を考えると、やはり子供は自由に育てた方がいいのかと考えるたりもした。

ただ、スポーツ選手ではないなら、(スポーツ選手でもだが)、私は勉強などが父親として教える事ができないのだ。私は学校の勉強がさっぱりわからない。

自分が職も持っていないのに、子供に「仕事に就いたほうがいいぞ。」と言うのは理不尽だと思う。

まあ、職についていないので、と言っている時点で、配偶者がいない事になるはずだし、イメージが自分と子供だけという情景で語っているのは矛盾がある。

まず、子育てというものが出来ない。配偶者がいて、大方、子供の世話をなんでもやってくれて、何かポイントで必要な時に私が登場するならいいが、おむつを変えたり、大声で泣き出したり、ぐずったり、生意気になってきたり、だんだん15歳以降等に反抗期になってきたら、骨肉の争いになって大問題を起こしかねない。

ほったらかして育てるわけにもいかないだろうし、かといって私はあまり叱るという教育も得意ではない。

まあ、私には子供を持つという事はないだろうから、そんな心配をしなくても良さそうだ。

たまに、プロレスを見るとか、野球やサッカーを見ると、もう自分は無理だから、子供に託そうと勝手に考えてしまうのだが、子供も持てない。持ちたくもない。

自分の人生を子供に託して生きてしまう事も嫌である。

例えば、ボクシングの亀田三兄弟の父は、工事現場の様なところでしっかり働きながら、恐らく何が理由かはわからないが、自分が届かなかったボクシングの夢を子供達に託したと思う。

イチロー選手等も小さい頃から、バッティングセンターのお金を父が出してくれていた。

やはり、ある程度、自分一人の力だけで、その道で成功するのは難しいのかどうかはわからない。私も野球をやって、だんだんプロレスを見て。2つ共目指さなかつただけだ。

はっきり言って、子供がいた時、その子供とどういう風に付き合えばいいかもわからない。

人生の勝者・敗者で敗者。

私は人間として、人生の勝者と敗者があつたら敗者だと思う。

まあ、そんな事はどういう尺度で言っているのか、という事になるだろうが、他人と比較する事はできない。例えば、シリア難民と私を比較できないように。だから、人と比較したものではないと思う。

ただ、まず漠然としてどっちだ。と言われたら、敗者であると言う。

まあ、この日本に住んでいて、私が経験したり、振り返ってもしょがない過去を振り返ったり、今、現在の体調とかもあると思う。

単純にこれが夏で元気だったら、敗者とは思わないかもしれない。

私は過去に、わんぱく相撲大会で優勝するとか、神社の相撲大会で優勝するとか、中学生の時に学年で、1年生と2年生の時に2位になるとか、中学野球でサヨナラヒットや同点タイムリーヒットを打ったというのは、いつ思い出しても確かに気持ちいい思い出。

そういう過去なら、自分に良いわけだし思い出してもいいと思う。

まあ、あまりすがっているのもどうかと思うが。

ただ、一方で本当にしなくてもいいのだが、結婚していないし、仕事にも就いていない、友人も1人もいない。ただ、これは、本当に私の中でどうでもいい事なのだ。

だから、これが敗者という意味ではないと思う。

ただ、私の中からモクモクと敗者というイメージがある。

ルーザーである。

例えば、野球の落合博満さんは、自分でどこまで思っているかは知らないが、三冠王を3度獲った唯一の打者、という事はあるだろうし。ただ、王貞治さんがあれだけ打っても意外と三冠王は2回という事もあったが。

あと、私はあまり学歴を誇る人は好きではないのだが、お笑い芸人のパッケン・マッケンのパッケンという外国人は、ハーバード大学を出ている。いつもそれを恥ずかしがるように「ハーバード大学です。」という姿が嫌い。まあ、そう言うしかしょうがないのだろうが。

と、他にあまり思い浮かばないが、鬼雀20年無敗の桜井章一さんや、柔術家の450戦無敗のヒクソン・グレイシー等も、肩書きがある。まあ、本人達にとっては浸透した今となってはどうでもいい事なのだろうが。

私は、特に肩書きもないが、先ほど書いた相撲やマラソンや中学野球の記憶で充分である。それがなくても全然大丈夫かもしれない。

ただ、何で私は自分が敗者だと思うのかわからない。日本の一般人が持っている結婚や仕事、友人に恵まれていない事も心底違うと思うのだ。

今35歳で人と比較する対象もなくなったが、昔を振り返れば、勉強系は駄目だったけれど、スポーツ系は良かった。

こう書いていくと何をもって敗者なのか？勝者と語る自信がないだけかもしれない。

サッカーについて。

私は、もし、サッカー日本代表の監督になったらやりたい事がある。

それは、今度の2018年ロシアW杯で、三浦知良選手をメンバーに招集する事だ。これは私の夢でもあるのだ。

その他にも、日本人最多キャップ（出場回数）を誇る、遠藤保仁選手や、FKやCKの名手の中村俊輔選手。中村憲剛選手。等を招集したい。

その他思いつく範囲では、

センターFWは、大迫、岡崎。

左FWは、乾、原口、宇佐美。

右FWは、本田、浅野

トップ下は、香川、清武

MFは、長谷部、山口蛍、倉田、（井手口）（今野）（小林祐）

左DFは、長友、（酒井高德）

右DFは、酒井宏、（酒井高德）

センターDFは、吉田、昌子、森重、（槇野）

GKは、川島、中村

という布陣で挑みたい。

私は、カウンターサッカーよりも、ポゼッションサッカーの方が好きだ。

ハリルホジッチ監督は、私は甘いと言われるだろうが、ほとんどそこに笑いはなく、厳しすぎる監督のようにも思ってしまう。

でもファンとしてみると、だからW杯予選を通過できたのかもしれない。と思う反面、何か勝っても喜びを感じないなあ。と思ってしまう事もある。

手倉森誠元ユース代表監督のように、当たりが柔らかい監督だと、勝っても、負けてもあまり態度が変わらない。それは決して甘い監督だからではないと思う。

私の性格もあるが、そういう監督の方が日本人の選手には合っている気がする。

見ていて、あまり次のW杯は期待できないかもしれない。と思ってしまうが、できるだけ、センターFWに大迫。左サイドに乾。右サイドに本田がいいけど、駄目なら、浅野。を入れる布陣がいいと思う。

ハリルホジッチ監督は次のW杯で、チームはグループリーグ突破を目指すのか？ベスト16なのか？ベスト4なのか？優勝を目指すのか？今回は本田を含め誰も何も言わず、大人しい。

私はやはり、本田がベンチにいるだけでも違ってくると思う。だから、経験のある本田は是非選んでもらいたい。スター性のある選手がいないと、見ていてもやはり面白くないというのがある。本田は選ばれるかわからないが、最後のW杯になるだろうから選んでくれ。

プロレスについて。

最近、見ているプロレスは、

アメリカの、WWE「ロウ」「スマックダウン、ライブ」「NXT」「特番系 (PPV)」。日本の、新日本プロレス「ワールドプロレスリング」。

これらは原稿をだいたいA4、1枚で書いているのを日課にしている。

その他に、WWE「205、ライブ」と、TNA「インパクト」は見るだけ。最近はつまらないのでどんどん早送り（飛ばして）している。

私は、最近注目しているWWEの女性選手は、カイリ・セイン。（日本当時名）宝城カイリである。若くてかわいい。アニメの世界から出てきたアイドルの様に見える。必殺技は「ダイビングエルボー・ドロップ」という技である。早くも今度4人制の戦いで、NXT女子王座のベルトに挑戦するので楽しみだ。

で、日本のプロレスは、2000年（今、2017年）位から見ているが、蝶野正洋が好きな選手だった。今の「バラいろダンディ」のMCの蝶野もいいけれど。

武藤敬司も、「レスル1」自体見ていないし、それにも出場していないのではないかと気がする。

アントニオ猪木の、「IGF」も、どうなっているのか全くわからない。

私が日本で見ているのは、新日本プロレスだけだ。内藤哲也は面白いレスラーだと思う、私は応援している。オカダ・カズチカはTOPが似合うが、特別に好きなレスラーではない。どちらかという、鈴木みのるや天山広吉の方が好きである。

アメリカのWWEには、今、レギュラーで出ている日本人スーパースターは、中邑真輔、ASUKA、イタミ・ヒデオ、戸澤陽、そして新しくカイリ・セインの5人だと思う。

アメリカのレスラーで好きなのは、現在の試合をしているレスラーでは、あまり試合をしていないけれど、クリス・ジェリコ、AJスタイルズの2人が格別（かくべつ）位。あと、ランディー・オートン、バロン・コービン、カール・アンダーソン、ルーク・ギャローズ等…。女子選手（ディーバでは）、ナタリヤ、ベッキー・リンチ、あとインタビュアーのチャーリーも好きかな。

まあ、昔に比べると、新日本プロレスに関しては、完全に熱が冷めてしまったが、内藤がいてくれるので、なんとか楽しめている感はある。

正直、RIZINとか、新K-1、のファイターと、新日本プロレスのレスラーが昔みたいに戦う構図ができれば面白いと思う。本当はガチンコ（真剣勝負）がいいけれど、MMA戦士（総合格闘技戦士）や、キックボクシング等の戦士が、昔のケン・シャムロックやドン・フライ、ジョシュ・バーネットの様にプロレスを覚えてくれて、そういう形でプロレスマットに上がってくれたら面白い。だが、やはり「プロレス対MMAやK-1」のガチンコ対決が見たい。

で、WWEはもうこの路線で問題はないと思うけれど、同じサプライズのアイデアが繰り返されるのではなくて、もっと新しいアイデアでWWEユニバースを楽しませてほしい。

巨人軍の低迷は、坂本勇人君のせいではない。

確か巨人軍は、3年前位から、キャプテンが阿部慎之助から坂本勇人変わった。変えたのは全巨人軍監督の原辰徳さんであるが、運もあるのだろうが、「キャプテンが坂本になってから巨人は優勝していない。」と言われるようになってしまった。

たまに放送で巨人軍の試合前の声かけのシーンが流れると、まだ、若い坂本は、他の選手達に命令口調ではなく「～していきましょう。いいですか!」「オウ!」と流れるが、ちゃんと目上の先輩達へも配慮して敬語を使っているところがいい。私は厳しい命令口調が嫌いだから、ポツと「ああ、坂本君、優しいなあ。」とってしまう。

今年もオールスターゲームで、小林誠司が WBC で打ちまくったのに、シーズンでホームラン0本、そしたら、ホームランを打った。高橋由伸監督がうなだれていたが、坂本も放送席にいて、「どうですか?」と聞かれると「シーズン中に打ってくれて感じですね。」と言い、「後で何と言いますか?」と聞かれると「おめでとう、って言います。」と言っていた。やはり坂本は優しい。

その坂本だが、去年(2016年)は、セ・リーグで首位打者に輝いた。

今年は横浜 DeNA ベイスターズの宮崎敏郎と首位打者のデッドヒートをしたが、8、9月位だったか急に不振に陥り最終的に2割8分、9分。近くまで落としてしまった。

先に結論を言うが、この坂本の不振がクライマックス・シリーズ進出に出られなかった原因だとは言えないと思うのだ。陽岱鋼にも不振はあったし、そこで、好調のケーシー・マギーが、試合前のバッティングゲージで打っている不調の坂本に、「ゲンキッ!？」と笑いながら喝を入れたという情報も流れた。

前半戦は打率首位につける等、貢献していたのに、チームの順位は最下位になるとか、13連敗する等、やはり原因は坂本の最後の月の不振のせいにはできない。

更に、これは言い訳になってしまうが、坂本は WBC の2月から戦ってきたから、もう心身がボロボロになってしまったのかもしれない。

ただ、気になった事と言えば、これは坂本が言ったのか、違う人が言っていたのかわからないが、「いつもこの時期、成績が落ちるのですよ。」という情報を聞いた事だ。それは、本当なら、来シーズンはそうならないようにしないとマズイのではないかな?とは私は思うが、そんな事は坂本の方が解っている事だろう。

どうしても、坂本は、人に優しすぎてしまうのだろうか?でも、私は坂本の様なタイプのキャプテンの方が好きである。

ただ、坂本は、意外と厳しいかもしれないが、そんな事はあまり感じさせない選手だ。

早くも日本人での3千本安打が期待されるとか、内野手だけに、メジャーリーグにはいかなくて、巨人でやっていった方がいいという空気を感じるが、私もやはり、坂本は内野手だけにメジャーは厳しいかもしれないと感じてしまう。坂本はどんな判断をするのか?

キャプテンでも巨人を背負いすぎないで欲しい。坂本君は優しくてかわいから大丈夫。

## 音楽（歌手）等について

私は、小学2年生位の時から、CDショップで、CDを買ったり、レンタルをしてダビングしたりして、カセットテープやMDに入れて聴いていた。

最近、買ったCDは長渕剛さんの「BLACK TRAIN」というアルバム。長渕さんのCDは、2014年のベストや、2016年の富士山麓ベストも買っている。

ある時、CDが溜まりすぎたので、売ったか、捨てたりしたのだが、歌を習っていた時によく練習したのが、B'Z、Mr.Children（ミスチル）、野猿、DEEN、T-BOLAN、尾崎豊さん・・・等だ。

今、欲しいのはB'ZのBEST。ミスチルの合計4枚の初期からのBEST。野猿のBEST。T-BOLANのBEST。といったところが欲しいが、なかなか売っていない場合もある、まあ予約すればいいのだが。

当たり前だが、私からすればCDは買うと高い。これらを全部揃えると、3～5万円以上するかもしれない。

そして、買ってあまり聴かない可能性もある。

この前、カラオケ屋で1時間位だけ、歌ったが、B'Zの「ブラザーフッド」、ミスチルの「ノットファウンド」、長渕さんの「くちづけ」、鈴木雅之さんの「恋人」、野猿の「ビークール」、巨人やソフトバンクの応援歌、松崎しげるさんの「愛のメモリー」・・・等を歌った。

最近は本当にCDを買わなくなってきた。今、家にあるのは長渕剛さんの3アルバム。ZARDのBEST。TUBEのBEST。初期の浜崎あゆみさんのBEST。尾崎豊さんのBEST。ミスチルの「リレクション」というアルバム。ボブ・ディランのBEST。ザ・ビートルズのBEST。と少ない。

昔の音楽番組は、私は今35歳（2017年現在）だが、「ミュージックステーション」は今もだが、「HEY!HEY!HEY!」や「うたばん」等がやっていて、今もあるが深夜に「CDTV」というランキング番組がやっていた。

私は、昔も洋楽は聴いていたが、英語が全く苦手で歌えないので、そこまで好んでいたわけではない。で、数年前に洋楽ランキングチャートで、歴史も深い番組がやっていて毎週見ていたのだが、音楽の雰囲気等が私の完全な邦楽スタイルと違う面や、テレビに出て来る外国人のラッパーや歌手のベロや耳にピアスをするとか、タトゥーを体中に彫ってあるのを見て嫌になった。（ただ、私の好きなプロレスラー達も全身にタトゥーを彫って試合しているが、気にせず見てしまっていて矛盾しているが・・・）

まあ、音楽も最近は、本当にそんなに好きではなくなった。家でも音楽番組は全く聴いていない。スーパーの買い物中に聴く程度だ。でも長渕さんは好きだし、倉木麻衣さんなんかも好きだ。昔のB'Zやミスチルも好きだし（最近の作品は、もうわからないだけ。）T-BOLANも買って買わなくてもいい。音楽の進化には、ついていけないのだ。

何の為に生きているのか、見いだせない事について

私は、1人で日中それなりの事はしている。

しかし、それらを終われば、結論、最後は

読書かゲーム（まあ、細かく言えば、こういう書く事やテレビ・・・等もあるが）

この2つになってくる。

で、ゲームはしばらくすると、もう今日はやりたくないな、と思ってくる。

すると、読書だ。しかし読書も、もしかしたら新しい本ではないからつまらない、と思ってしまうのかもしれないが、筆筈から古い本を読んでも、新たな発想が生まれてこない。

やはり、家の中にばかりいては、発想やアイデアは浮かばないのだろうか？

古い本でもいいが、そもそも何の為に本を読まなくてはいけないのかわからない。

この事はずっと前から私が課題にしてきた事だ。

何の為に本を読むのか？

そして、何の為に生きるのか？

この前、生まれてきて、生きて、しばらくして死んでゆく事らしい。

で、本も飽きて、ゲームも飽きたら、日記でもテレビでも食事でも何もしないでもいい。

といいつつ、日中は、「プロレスコラム」を書く作業をすとか、筋トレや座禅をする事にそこまで意味を求めないでやっている。

「プロレスコラム」は、たまに、意味や方向性を感じて嫌になる時もあるが続けている。

筋トレは、無意識に毎日、鏡を見て痩せているように見えると、腹筋運動等を頑張ったりする。これには結果が伴うから、少し面倒でキツイけど楽しめるのだろう。

座禅は、まだ本当に効果があるかはわからないが、習慣化している。

でも、読書だけは、確かにどんどん新しい言葉や表現を覚えるし、いいとは思いますが、やはり本当に何の為にやっているのかが掴めない。

「プロレスコラム」を書く為に「プロレスの本」を読んでいるのか、たまたま読みたいから読んでいるのかも謎だ。

「野球」や「サッカー」の本を読んでも「野球コラム」や「サッカーコラム」が書けるかは微妙だ。それを書けた時は確かに意味を見いだせて、喜びがあるかもしれないが、それはとりあえずいいとしよう。

問題は、読書かゲーム（日記やテレビも改めて含むが、一応、この2つ。）最後には読書が残ってくるが、これは昼でも夜でも楽しめないのに、子供の頃から本を読むのは好きだったから、読んでいるが、何故、本を読むのだろう？そして、どの本を読めばいいのだろう？私は基本スポーツエッセイでいいが、そのプロレス、野球、サッカー位の3つしか読まない事が幅を狭めている事は承知の上だが、他の本は意味がわからなくてつまらないのだ。

何の為に生きているのか？は、この前生まれ、生きて、やがて死ぬ事らしい。

なんとか夜まで来たら、読書とゲームと日記とテレビ・・・等でないすしかないのでは？

## 読書について

今、この「無料 HP 本（題、まだなし）」を日々書いている作業をしているので、これを書き終わったら、また何かを始めてしまうか、本当にもう、この「HP 本」を出して、あとは「HP の日記」を書いていくスタンスになるかは、自分でもよくわからない。流れに沿って生きているから。まあ、本当は、私は休憩したいのだが止まらない。

一時期はテレビで見て、テレビの若い男が、「本を読むインプットよりも、これからは書く等のアウトプットをした方がいい。」と語っていたので、これはいい言葉だとその時は思った。

私のこの「HP 本」もアウトプットの作業で、作品というのは当たり前だ。

ただ、最近はこのアウトプットの作業もマンネリ化して面白みを感じなくなった。まあ、この「HP 本」を書いているから、「プロレスコラム」や「野球コラム」、「サッカーコラム」も手が回らなくなったと言いつけるかもしれない。とにかく今はこの「HP 本」に夢中だ。早く仕上げたい位に思っている。

さて、読書は、昼でも夕方でも夜でも夜中でも、飽きてしまう。新しい本でも結構飽きるから古い本は更に飽きる。でも、ゲームやテレビはあまりしたくない、となると、こうして文を書くか、読書するか、という事になってくる。

まだ、寝るまで時間がある間は、焦りもない。無論、寝る前に改めて読みたくなっても焦りはないのだが、寝る前はもうほとんど頭の中に入ってこない。

まず、選んだ数冊を本棚に並べて、その見心地が良いかどうか肝心だ。何かその本から感じるオーラの様なものが楽しいと思わせてくれないと、本も読む気がしない。

で、本を開いたのはいいものの、特に日本人の本は読みやすいが、海外のメジャーリーグやサッカー選手の翻訳した本等は、長いし複雑であり読み気がしない。

この前読んだ本でも 1 冊で 3 ヶ月位かかった気がする。

だから、私の文も、もしかしたら読みにくいかもしれない。

でも、難しい本を読んで、読者が読めないのと、

優しい本を読んで、読者が読みやすいのでは、

まあ、どちらがいいのかはわからない。やはり難しいという事も大切だろう。

私は、スポーツエッセイのレベルだけで難しいと言っているから本当は難しくないだろう。

私は、漫画もそんなに好きではない。1 つだけ「意外と幼稚だね。」と指摘されると仮定するならば「ゲーム」をやる事だ。野球ゲーム。ただ、観戦しているだけだが、その采配を振るう事が楽しい。人によれば漫画もゲームも幼稚ではないかもしれない。本は大人っぽいという感覚がなんとなくあるが、それがどうした、と思う面もある。

もう、本を読む事も飽きてしまった何の為に読むのか？開いても読む気がしない。

言い訳するなら、今年は急に寒くなったので、今は何もやる気がしないのも 1 つ。



未来について

未来はどんどん進化していくだろう。

そうすると、不死の薬や、若返りの薬、身を守るバリア等が発明されるかもしれない。

例えば、人に触るという事や、言葉を跳ね返す（受け入れない）というものもできれば、殺人や暴力、いじめ・・・等も全部なくなってくるのかもしれない。

例えば、核爆弾が投下されても、生きる事ができたとしたらどうだろうか？

その前に病気や、体というものも改造されるかもしれない。

私は人間の体ではなく、動物の体や、点、見えない物に変身できるかもしれない。

私はそうだが、過去に良いイメージがない人は、それを忘れるとか、記憶から失くすという事は極端かもしれないが、そういう事ができたら、不死の病の薬を飲んで人生を続けるという道もあるのかもしれない。が、今の私なら、過去の人生が嫌だったし、たまに鬱々とするから、不死の薬は飲まないだろう。

どこかの国では、自分が死にたいと言えば飲むと死ぬ薬を使ってもいい国もあるようだ。

極端な例を挙げれば、自分の体がなくなり、点であれば、家という物もいらなくなるのかもしれない。

食べ物の方もその時、お金の感覚がどうなっているかもあるが、まずは、人工肉という物が与えられ、貧乏な人でも食べていけるような体制ができるといい。

エンターテインメントもどんどん変わっていくだろう。自分がわざわざ、ディズニーランドやスカイツリー、野球、プロレス、サッカー・・・等に行かなくても、もうそういう次元ではない。1人で「幸せの感覚」というものを、永続的に感じる事ができるのであれば、正直、女性は知らないが、男性はマスターベーションのような一瞬や一時の快樂ではなく、SEXの様な2人以上の快樂でもなく、もちろんドラッグや酒でもなく、もう「生きている事が幸せ」と思える状態だ。もしかしたら、どこかの国ではそういう人はごまんといえるのかもしれないが、私は「永遠の幸せ」「永遠の青い鳥」を追いかけてしまっているのかもしれない。

正直、昨日は家でする事がなく、退屈だった。しかし、今日は野球をずっと見ていたら、楽しくて、今、結構、幸せな気分だ。ただ、これはずっと続くものではない。

結末では、ロボットが人間を破壊してしまうのかもしれないし、ウイルスで人間が絶滅するかもしれない。その前に人間のバリアのような、不死の薬ができれば、そして、幸せならば、核を地球上に落とされても、何かしら、天国か宇宙か地球上か、思いたくないが地獄で生きていけるのかもしれない。

だから、この世界はこのまま、もう進化させないで欲しいと言っても、もう発明家が、進化を止めないだろうから、新しい世界を受け入れていって、35歳の自分が先に死ぬか、不死の薬を飲むかと考えられる。でも、私は普通に死にたい。不死の薬も飲みたくない。

まあ、不死の薬を作ったところで完璧はなく、どこかに欠陥が発生し、最終的には、カバーしきれないだろう。ただ時代の流れは猛烈に速い。先に死ぬか？不死の命が先か？

人は哀しい物。

美空ひばりさんの、「愛燦燦」の歌詞の中に

「人は哀しい、哀しい物ですね。～人生って不思議な物ですね。」という歌詞がある。

中島みゆきさんの、「時代」の歌詞の中には、

「まわる、まわるよ、時代はまわる、喜び、悲しみ、繰り返し～」という歌詞がある。

浜崎あゆみさんの「End roll」には、

「人は哀しいもの？人は哀しいものなの？人は嬉しいものだって、それでも思っているよね」という歌詞がある。

やはり、時代がどんなに発達しても、人間には哀愁があるからいいのではないか？

もし、人生がこのまま、終わらないのであれば、哀愁も哀しみもあまりないものになるのかもしれない。

感情というものが、少なくなってしまうかもしれない。

ただ、もう苦しい人生は送りたくないものだ。

哀しいけれど、それも含めて良かったと振り返るから、いいのだろう。

もちろん、感情がないような人間もいるだろう。

それも含めて人間だ。

さすがに未来は読めない。

その時流に対して、対応して生きていくしかない。

でも、人生は、哀しいばかりではない。

楽しい事もあるし。

感動する事もある。

もちろん傷つく事もある。

私も少しだけ、昔より、特に涙の意味等では強くなったと感じる。

それでも、急に泣きたい時は1人でむせび泣く時もある。

それも、含めて人間ではないだろうか。

ただ、「哀しい事の方が、楽しい事や感動よりもいい」なんて思うほどの人間ではない。

そんな事はもしかしたら、当たり前かもしれないが。

「人生って不思議な物ですね。」

今は現状維持で生きればいいし、

これから先も、現状維持のイメージで生きればいい。

ただ、家族との別れや、戦争や地震・・・等

何が起こるかは、わからない。

昔の思春期が一番辛かったと思うのに、

もっと辛い人生が待っているのか、それを乗り越えるだけの経験値があるのか。

でも、私はこのまま、現状維持のような形で人生を送る事を望む。

## 過去について

私は、過去に良い思い出がない。

それでも、いろんな良い思い出や、楽しい思い出もあった。

ただ、キレやすい性格でもあったし、中学や、中退した高校は特に面白くなかった。

小学生の頃は楽しいと思ったが、振り返ってみると、つまらなかった事に気づく。

というか幼稚園でさえ、楽しいかわからなかったのだから、

過去というものが全体的につまらないと決めつけているのかもしれない。

だから、これから歩いていく未来も、もしかしたら過去になるのならば、つまらないというケースに入れてしまうのかもしれない。

恋人や友人は、サササッと隠れるように逃げて消えてしまった。

もちろん、口喧嘩して離れていった人もいるが。

同世代の人間とは、全く今は付き合いがない。

ただ、親を含め、年輩の方々には、まだ付き合っていていただいている。

過去の思い出で良い思い出は、犬を飼っていた事だ。

柴犬のオス（リッツ）と、メス（さくら、＜他名＞アーコ、あーちゃん）の2匹だ。

もう2匹とも相当前に死んでしまったが、凄くかわいかった。

あと、父が昔はよく、車でいろいろなところに連れていってくれた。

私は哀しいバラードを車の中でかけまくっていたが、嫌な顔ひとつしないで流させてくれた。

中学で野球部にいた頃の私の体格は、やせ型だったので、父はいつも休日に、私をステーキハウスに連れていってくれた。今ではとても食べられそうにないが、400g位の肉を食べていたが、あまり太らなかつた。今の方が体重は85kgもあり、やや太っている。

母とは、私が家に籠るようになった時、「よし、車でどこか連れていってあげる！」と言ってくれて、意外とそういう事はしないタイプだと失礼ながら思うが、冬だったと思うが、ソバを食べた。そして、山の景色を眺めて車を走らせていたら、私が「あの山のヒダが気持ち悪い。」と言った。母とその話になると「感性が鋭（すど）いのね。」という話になる。

親戚のおばちゃんには、山に連れていっていただいた。私は、何故か、何も言葉を話さずついていって登ったが、山の頂上でおばちゃんが温かいうどんを作ってくれて、その時食べたうどんの味は、今も思い出せる程抜群においしかった。

それで思い出したが、中学か高校の時、自分の家で、4人でバンドみたいな事をして音合わせをして遊んでいたのだが、私としては音楽に集中したかったが、母が突然4人分の「焼きそば」を作って、皆が食べたら、「うまい！」って事になって、私も最初は母に、邪魔しないで欲しいと思ったが、食べたら「うまい！」と思った。その後、バンドのメンバーの皆が「おかわり」をしておいしそうに食べているのを見て、こういう事の方がバンドの音合わせより、人間として大切な事なのかな。と、その時も、今になっても感じたりするものだ。

今（現在）について

今の私は、家族や年輩のお知り合いの方を除いて、同世代の恋人、友人がいない。

まあ、私ももう欲しいとは思わない。

どうせすぐ、大げんかして離れていく関係になるからだ。

そういう人が多すぎたせいか、私は人間というものを信用していない。

唯一、信用できるかもしれないのは、父と母だけかもしれない。

それだって、確信があるとは言えないが、子供だからとは言えないが、昔から私が問題を起こせば、父や母は私を助けに来てくれた。

だから、感謝している。

先日、父と車で小さな旅をするとか、その前には、喫茶店で話し合いもした。

母とは、親戚のおばちゃんが倒れ、病院で合ったりした。

ただ、私は、最近、今後は父も母も、いつ何があるかわからない、とも感じている。その為に、今までは基本的に電話をかけていたが、それによって甘えてかけてしまわないようにしたりしている。たまにはかけていいと思うが、先日は3ヵ月ぶり位で、母に電話したら、海外旅行に行っているという空振りに合った。まあ、メールはしているから、大丈夫なのだが。

ところで、最近の私はどうしているだろう。

最近、年輩の上司と、3週間に1回位、お話をさせていただいている。

私は、基本、雑談ではスポーツの話しかできない。でも、「スポーツが好きだという事は良い事ですよ。」と先日言うてくださった。あと、「スポーツ選手等のドキュメンタリー系が好きだ、というのも良いですよ。」と言うてくださった。

私は、あとは、テレビで「とんねるずのみなさんのおかげでした」を見ている。

ダウンタウンも嫌いではないが、私が東京生まれというのは、あまり関係ないかもしれないが、とんねるず、しか最近は見なくなった。

ダウンタウンでひとつ、突っ込むとしたら、年末の「絶対に笑ってはいけない」という番組が10年以上続いていると思うが、松本、浜田、遠藤、田中、月亭の5人が、笑いを我慢できるのに、それを例えば3連発位連続で田中が笑わないと、浜田辺りから、「田中なんやお前！しっかりやれや！」という喝が入る気がする。だから、強引に笑わなくてははいけない雰囲気は私はあまり楽しめない。確かに楽しい面もあるが。まあ、年末は違うチャンネルも面白いから、もし「絶対に笑ってはいけない」だけで見たら、面白いと思うが、録画して後から見る場合は長いから早送りして、結局見ないという感じだ。

報道ステーションのスポーツコーナーも見ている。で、報道ステーションの富川悠太キャスターの横にいる、女性の小川キャスターは最初、古館さんの時代は厳しくて冷たい人なのかと思ったら（失礼！）、ずっと見ていると、綺麗で優しく素敵に思えてきた。以前、富川さんが、「小川さんの流し目の・・・」という表現が良かった。美しい女性だ。

もし私が監督で、采配の答えを知っていたら。

幼い時から考えた事もあるのだが、例えば、私がプロ野球チームの監督になって、自由に采配を振るっていいとしよう。その時にこうすれば勝てますよ。という答えがわかっていたら名監督として、殿堂入りし、国民栄誉賞をもらうかもしれない。

ただ、そんな事ができるなら、自分でやっていてつまらないとを感じるかもしれない。ただ143試合あって、143連勝したら、人に尊敬されるかもしれない。

例えば、監督になって打順を組む時に、答えが、今日は4番のAを外して、2軍で埋もれているBに入れ替えろという指示が飛んだらそのようにしてみる。スタメンも何故か、その日は2軍、3軍の選手を入れる。その選手達は結果的には4打数0安打に終る運命かもしれないが、投手のピッチングが良かったのも手伝い勝ったとする。するとマスコミから、「4番やスタメンを替えた理由を教えてください。」と早くも初采配で効果が表れる。言ってみれば、神様に答えを教えてもらっているだけだ。

そんな調子で、突然、トレードをすとか、優秀な投手を全く使わない等の采配が見事な中して143戦で143連勝して優勝して、日本一になる筋書き。

普通の練習方法や、遅刻はしているのか、長髪、首飾りはいいのか、等は、全て、神様に決めてもらう。

こう書いていくと、おいしいところだけいただいて、神様に頼って自分は何もしないという、意志のない采配という事がはっきりする。

それはまるで、自分のチームに強打者や守備の巧い選手だけを揃えたり、ステロイドを打った選手を使ったりしているのと同じようなものかもしれない。それはちょっと違うか。

今日の広島対DeNA戦では、DeNAのラミレス監督が小刻みな投手リレーを見せて勝利した。要するに実力がある監督なら、そんな神様の力を使わなくても勝てるのだ。その努力をするから、面白いのだろう。

しかし、私には監督という素質は向いていない。

だから、例えば、サッカーでは、メンバー選考にどうしても、(何度も言って岡田武史監督に失礼だが)三浦知良選手を入れてW杯に連れて行って、FWのポジションでゴールしてもらって、カズがついにW杯でゴールしたという采配を振りたいのだが、これも、もし、私が監督ならば、他のメンバーもどういう風にしてカズにゴールしてもらうか。ついでに言えば、日本がW杯で優勝するには、どうすればいいか。を神様に聴きたい。

とまあ、昔から、多分、不思議がられる采配に憧れてしまっていたのかもしれないが、そういう野球での采配などは、意外と私が思うよりも、やっているかもしれない。4番と2軍の埋もれた打者が交換するのは、よっぽどだろうが、私は100%の確率位で成功させたいと思っているのだ。ただ、これは勉強で言えば単なるカンニングだろうか。学校のテストの紙を前日に盗んだ事と同じとも言える。でも、「岡本悠監督(私)あなたの采配は凄いですよ。」と尊敬されて見たいものだ。そんな事を昔から考えていたが、少し憧れる夢だ。

## 現状維持に走る若者

これは日本経済新聞に書いてあったものだが、私もちらっと、その題名を見ただけなのだが、今日は選挙の日なのだが、「若者は今のまま、現状維持でいい」という風潮があるようだ。

私も別に今のままで、生活が繰り返されるなら、それが一番いいと思っているので、特に今の政治等に対しては、このままやってほしい。

アメリカなどは、バラク・オバマ前大統領の時「チェンジ」という言葉が流行り、今回のドナルド・トランプ大統領は「どんどんチェンジ？していく人」だ。

だから、アメリカの国民の方が、日本の国民よりも、どんどん変わっていく政治の元で生きているのかもしれない。

もしかしたら、アメリカは変わっているようで、日本で現状維持の生活している人間と同じように、変化を感じないで生きている人も多いかもかもしれないが。

私は、政治の事は全くといっていい程、わからないが、子供の頃から選挙戦が始まっても全く興味がなかった、今もない。ただ、テレビをつけると、今日も選挙戦がほとんどのチャンネルでやっていたが、自由民主党がとにかく票が多くダントツという状態だけは、昔から変わらない。ただ、一時期、鳩山由紀夫さんや、野田佳彦さんが野党で総理だった事は知っている。その時は与党を野党が上回ったのではないだろうか、よくわからない。

で、そういう奴がいるから、選挙の投票離れが起きると言われるのだろうが、まず、私の場合、政治がわからないし、わかろうともしない。そして、選挙の投票でこれだけの人達が投票しているのに自分が1票入れたところで、何か結果に関しては変わる事はないと昔から思っていた。ただ、1人でそう思っているならいいが、こういう風に公表してしまうと、「そうだよな、自分の1票でたかが+1票だからな。」と考えるなら、こんな公表はしない方がいいが、私はそれでもこんな文の言葉に影響も責任も発生しないと思っている。

で、それよりも、投票していた時期もあったのだが、すると、テレビで「あっ、俺が入れた人当選しているよ。」という、政治に参加する意識になってしまい、その事が嫌だった。まるで、ゲームのソフトをやらずにテレビだけ見ていた人間が、ゲームのソフトをやって遊びだすような感覚になるから、まあ、素直に政治に参加したくない、というのが私の考え方だ。

おかしい事を言い出すようだが、この世は運命や宿命が、神様によってコントロールされているのかもしれない、という考えが私には強い。

だから、私が1票自分の意思で入れたとしても、入れないとしても、決まっているのではないか。と考えたりもするが、もし、自分の意思が強くて、選挙で投票する事に傾くのであれば私は投票して、その人の結果を追って、その政党の結果を追うのかもしれない。

プロレスが好きなのに、アントニオ猪木や馳浩がいても、投票しないのは別に理由はない。若者の現状維持は肯定も否定もしないが、今の政治においては現状維持でいいと感じる。

スマホ（スマートフォン）について

この題も、今の時代の速さでは、どんどん古くなっていくのかもしれない。

私は、スマホ（スマートフォン）が出来たのがいつからかはわからないが、まだ折り畳み式のガラケーを使っている。

私は、HPの音楽にもある自分の曲だが、中学生の頃「次の時代」という曲を作った。<バスの中で、超ダラシナイ恰好で、髪をブラシで直している、一人の女子校生がいた〜>と嘆くような曲。

で、何を言いたいかというとその当時の世代がもう、私の年齢の35歳。それ以上40、50、60でもスマホを使っている事に、それを外で使っている事に危険を感じる。

というか、私からすれば、非常に邪魔だったりぶつかりそうになったり、斜めに歩いていたりしているので、やめてほしいのだ。

私の勝手なラインで言わせてもらえば、電車やバスで読書をするのは、許されていた事だと思うのだが、電車やバスで皆が皆、スマホをやっている事が気に入らない。

先日は、駅のホームで電車を待っていたら、私の周りを見渡したら、9人位が全員、スマホをいじっていた。これは異様な光景だと思った。

まあ、私がここから愚痴っても<ああ、意味のない、愚痴の嵐〜>となると思うので、少し肯定してみたい。

まず、私はゲームをやる事があるのだが、今はもうだいぶスマホのソフトが多くなっている。画面は小さいがゲームをやる口実でスマホを買うという手はある。

それから、これはスマホというより、グーグルか何かだが、言葉の認証で、喋れば、例えば「OK、グーグル、電気をつけて」と言えば家の電気がつくとか・・・等。そんな不思議な、言葉を喋っただけでできる時代が来たのだと思った。

こういう文章も書いている行程が楽しい時もあるが、だんだん、もう人工の文とか、喋って文章をパソコンのようなものが、起こしてまとめてくれる時代も来るかもしれない。

だから、まだ、ガラケーで様子を見ていればいいのかもわからないが、なんとかスマホの時代をやり過ごして、新しい形で、これだけは欲しいというものが出た時だけは、それを手に入れればいいのかと思う。

まあ、私は、本当は今の時代のまま、死んでいくのが理想なのだが、もしかしたら、私をハッピーにさせてくれる機械（マシーン）が登場してくれて、それで生きられるのなら、それでもいい。ただ、現段階では死というものはあつて欲しい。

最後は愚痴るが、スマホを私は好きではない。スマホの中で進化されても、とても扱う事はできない。スマホとは全く違った形の新しい物がいい。

ツイッター、フェイスブック、SNS・・・等もよくわからないが、テレビで画面下にダラダラとツイッターが流れていると馬鹿らしくなる。

私は、これ以上の時代の進化は望まないが、それもあり得ないので愚痴になってしまう。

## 腹筋について

私は、男だが、まずどういう体にしたいか？というのがある。

私は、プロレスが好きなので、理想は最低でも身長185センチ、体重100キロという、プロレスラー体型だったら嬉しい。

ただ、私は身長が175センチ、体重85キロである。

これは、プロレスで言うと、ジュニアとかクルーザー級という枠である。

格闘家の様な、マッチョで筋肉隆々には憧れるが、腹筋の上に肉がついているプロレスラー系でもいいと思う。

一方で、サッカー選手は大きい選手もいる反面、プロフィール等を見ると、小さい選手がやたらと多い。ただ、やはり体は鍛えているせいか試合が終了すると、香川真司選手や本田圭佑選手・・・等は、ユニフォームを脱ぎ、筋肉を自慢といったら失礼だが、そうするようにピッチを裸で歩いている。

人間とはどうせ死んでしまうが、生きていたらマッチョになれたらいいなどは少し思う。

最近は何となく、筋トレが続いている。

### ・義務趣味（義務ノルマ）

足曲げ正面腹筋50回。背筋50回。腕立て伏せ10回。屈伸10回。

立って足上げ両足10回ずつ。座って足上げ両足10回ずつ。スクワット10回。

腕回し小さくぐるぐる回しを左右、前、後ろ10回ずつ。

腕回し大きくぐるぐる回しを左右、前、後ろ10回ずつ。

### ・趣味（余裕があれば）

足三角つけ腹筋50回。右腹筋50回。左腹筋50回。足上げ50秒。背筋50回。

### ・あと、このメニューの他にラジオ体操とストレッチもたまにやっている。

奇跡的に最近が続いている。ただ、食事も本当は考えなくてはいけないのだが、食事に関しては適当に食べているし、ジャンクフードも多い。コーヒーの砂糖も気にしない。

理想は80キロを切りたい。75キロ位だったらどんなにいいだろう。

やはり35歳という年齢になり、健康という事を意識しだした、もっと追い込まれれば、ウォーキングとかを始めるかもしれないし、やはりしないかもしれない。腹筋についてもいかにせん腹が膨らんでいる状態なので（今も）、だから、それを思うと欠かさず続けているのだと思う。どうせどこかで1回はやめてしまう時期もあるかもしれないが、できるだけ続けて、いつかウォーキングができたらいいなと思う。まあ、痩せても人間は死んでしまうが。



## 厳しい人について

私は甘い人間である。自分だけの事についてやり切るとかは、結構頑張っている方だよ。と言ってもらえるかもしれないが、自己判断では、妥協もしやすいし、仕事もお金を稼ぐ様な事はできない。まず、仕事という意味では甘いだろう。

私は人間関係が嫌いである。ただ、私は、人間と付き合っていると、よほどの人ではないと、キレテ爆発してしまう。だから、数少ない人の中で最近では生活している。

と、まず自分の事を書いておかないと自分はどうなのだ。と後ろ指を指されるので、書いた。

私は、怒りやすい先生とか顧問とか監督とか上司が嫌いである。

大変失礼だが、今では好きだが、中日、阪神、楽天の球団で監督をした星野仙一さんの鉄拳制裁の監督ぶりを子供の頃、「珍プレー、好プレー大賞」等の番組で見ていたが、絶対にこの監督の元ではプレーしたくないと思った。最近でももしかしたら怒らせたなら、怖いかもしれないが、優しくなった気がして温かみを感じる。暴力というところを除くと、人間として凄く筋が通っている人だな、と感じる。

私は、小学生の時に、担任にならなかつたから良かったが、ある日、暴力教師から「フラフラ立つな！」という感じで、いきなりはたかれた。社会は理不尽な場所等とは認めたくないが、私はこういう人が嫌いだ。

私は、怒るとか、キレたりするのがいけないと思い、優しくというか、怒らないで生きてきたら、どんどん舐められた。自分の怒りの表現の仕方がわからなかつたし、どうやって戦えばいいかわからなかつたし、言葉で戦う事もできなかつた。つまりキレタ！！

私は、怖いとか厳しい目上の人の元で、働くとか、下に就く事が嫌だ。

逆に優しい、思いやりのある目上の人と話すのは好きだ。

私は、5人家族の3人兄弟（きょうだい）の末っ子で、父も母も優しくかつた。母とは少し言い合いになる事はあつたが、ほとんど思春期の10代、20代の頃だ。

思春期に家出をしょっちゅうしたのだが、そこで知り合つたおじさんは、普通位の厳しさだつたが、私が年賀状を送つたら、印鑑で「引っ越しました」、と書いてあり姿を消してしまつた。私も迷惑をかけたがそれだけの関係だつたのだろう。

埼玉県の保寧寺という寺のおしょうさんは厳しかつたが、私がお世話になつた後、また行つたが黙つて帰り、「また来いよ！」と電話をいただいたが、同じく年賀状を出したら、返事が来なかつた。それだけの関係だつたのだろう。

とは、あまりにも冗談でも失礼だ。あの時はお2方共真剣に相手をしてくださった。

どうも、年賀状というものが私は気に食わない。

脱線したが、厳しい、怖いという人と私は付き合う事はない。自分のやりたい事でそれは組み立てればいいのだから。まあ、甘い人生になるとしても。もう一端（いっぱい）でもないけど、自分の人生は自分で決めなくてはいけない。自分に厳しくするという事でもない。

ボクシング・村田諒太選手からもらったもの

私は、普段はもう17年のプロレスファンだが、K-1やMMA（総合格闘技）が流行る前は、プロレスとボクシングが主流だったのではないだろうか。

私は、基本プロレスしか追っていなかったのですが、ボクシングというと、日本人では、苗字しかわからない人もいますが、輪島さん、具志堅さん、辰吉丈一郎さん、畑山さん、亀田三兄弟、山中慎介さん、内藤さん、長谷川穂積さん、竹原さん・・・等、そして、今回、あまりの宣伝の中で村田諒太選手の試合を見た。

相手は、アッサン・エンダムという確か黒人のフランスの選手だ。

前は、村田選手はKOを奪いながら判定1-2で敗れたが、再試合が認められ、命じられたようだ。

なんとなく北野武（ビートたけし）さんは、ボクシングをよく見ているのか、自分でもしているのかわからないが、今回、コメントや村田選手にアドバイス？をしている映像が流れた。

たけしさんは、プロレスの方でも「たけしプロレス軍団（TPG）」という軍団で、新日本プロレスにも、あのベイダーを送りこんだ事もあり、格闘技系が好きなようだ。

ただ、ボクシングの方への情熱の方が熱い気がするが。

村田選手の話から、たけしさんの話になってしまったが、とにかく今回は選挙戦を敵に回して、フジテレビだけが、途中で選挙速報が入ったものの、この試合を生中継した。

私は、前回の村田対エンダム戦は見ていないのだが、今回はフルで見た。

序盤から村田の方がパンチを当てて、ダメージを受けている様子もなかった。このまま、いけば、KOか判定勝ちにはなるな。と思ったら8ラウンド目辺りで、エンダムが試合を放棄した模様で村田がTKO勝利。

泣き顔をしているように見えたが、「泣いていません。」と語っていた。確かに涙は流れていなかった気がする。ただ、感極まったのかそういう表情にはなっていた。もちろん、そこには、ミドル級のチャンピオンになったからだろうし、いろんな物が詰まっていたと思う。

村田が、リング上のマイクでの勝利者インタビューで、「負けた人の分もこれからは背負って、戦っていかなければいけないのだぞ。という恩師の言葉を大切にしている。」とちょっと私が間違っているかもしれないが、それを聞いた時、私は思わず涙を流してしまった。

村田選手は、「応援してくれる皆と共に戦う。」という英語の文字の事も話題にしていた。

この孤独な人が多い世の中で明るい灯台のような光になって欲しい。

私は孤独だ。同じ様に孤独な人も現代では多いと思う。

だから、村田選手に限らないが、村田選手の次の試合もまた見て応援したい気持ちが強くなった。プロレスもいいが、ボクシングも、K-1も、MMAも、野球も、サッカーも、アメリカンフットボールも楽しい。今回はとにかく村田選手おめでとう。そして、ありがとう。

スポーツについて

私の好きなスポーツは、プロレス、格闘技、野球、サッカー、(アメリカンフットボール、バスケットボール) といった感じである。

プロレスは、アメリカと日本をチェックして、

格闘技は、幅広いが、MMA (総合格闘技) とキックボクシング、ボクシング、大相撲、をチェックしている。

野球は、プロ野球とメジャーリーグ、国際試合、(ただあまり甲子園や大学野球、社会人野球・・・等には興味がない。)

サッカーは、日本代表、Jリーグ、海外サッカー、国際試合、なでしこジャパンはぎりぎり見る位。

アメリカンフットボールは、深夜の4チャンネル(日本テレビ)のNFLクラブチームをチェックしている。

バスケットボールはほとんど興味ないが、Bリーグになってから面白くなった。1チャンネル(NHK)の海外のNBAマガジンもチェックしている。

ただ、プロレスは原稿を書くところまでやっているから、これはもう好きな事としてやっていけばいい。

格闘技も結構見ている方だが、タイトルマッチとかレベルの高い試合は見るが、あまりにつまらない試合やレベルの低そうな試合は、早送りするとか、見ない。

野球は典型的で、巨人とヤンキースが好き。甲子園は、自分が中学野球を終えた後、高校野球はやらなかった為、見たいという気が起こらない。それでも松坂大輔対PL学園や、田中将大対斎藤佑樹の試合等は見た。ちなみに西武に入団した松坂のプロデビュー戦の、東京ドームでの日本ハムファイターズ戦を観に行ったが、5回位までパーフェクトだったが、金子誠選手だったか、誰かにセンター前ヒットを打たれて、その前後で外国人にデッドボールを当ててしまい、詰め寄られ、動揺したのかコントロールが乱れたというのはあったが、その後は抑えていた記憶がある。

野球でいうと、イチロー対松坂の4打席連続三振で、松坂が抑えたというのをテレビで見たのも印象的だ。

サッカーは、やはり、Jリーグの開幕戦、読売ヴェルディ川崎と横浜マリノスの開幕戦は良かった。記念すべき最初のゴールはヴェルディのマイヤーだ。

昔、日本代表の試合を観に行った時は、何次予選か忘れたが、三浦知良選手がゴールした。今、50歳のキングカズは今もJ2の横浜FCの現役選手である。

アメリカンフットボールは、昔、テレビで見えていたが、日本のアメフトを観に行ったら、そこまで楽しくなかった。最近のサンフランシスコ49ersはずっと不調で、天才QBだったと思うが、ジョー・モンタナという名前だけが記憶にある。

バスケットボールBリーグは、アルバルク東京を応援しようか、田臥か富樫か、どこか。

エロ、スイッチ

本来はこういう下ネタ系を書くタイプではないのだが、ネタがないし、そういう文を書いて恥ずかしさの殻を破る意味でも書く。

例えばSEXがしたいが、相手がいないなら。風俗やソープランドに仮に2万円払えば、済ませるかもしれない。

これも未来の発明の道具というイメージで、読んでほしいのだが、昔はジョークで洋服が透けて裸が見えるメガネがあればいい、というのが、話題になった事があった。

私は、一般人の女性をナンパできないので、「この女性ならここまでやらしてくれる」、とか「この女性を選べ」という機械が教えてくれたら、シャイで話しかける事ができない私でも、機械に従えばH（エッチ）する事が出来るかもしれない。

下ネタにこだわらなくても、私とデートするとか結婚しても、何故か上手く釣り合う女性を機械が教えてくれる事があったら嬉しい。

だから、違うページでも書いたが、私は未来でこうすれば成功する。という機械が発明されるのを期待しているのかもしれない

風俗やソープランドでは、まずお金を払わなければいけない。好みの女性が現れてくれるかもわからない。

まあ、風俗やソープランドは行きたくないから、行かないのでいいのだが、とにかくドラゴンボールの孫悟空やベジータが、「戦闘能力」や「気」を感じられるように、女性が街でもいいし、電車でもいいし、どこかの家の中からもいいが、「私は、あなたとH（エッチ）しても全然かまわない。」という事がわかるようになりたい。

と、まあ、そうは書いてみたものの、それは現実問題として難しそう。器用な男性ならサッと、そこまで持っていこうだろうが、私にはそんな誘い方等の巧さがない。

何か全てが整ってほしい。隣の部屋には響かないようなラブホテルの様な場所で、ベッドとかタオルとか飲み物とかも、ちゃんとセットされている空間（部屋）。

でも人間同士って結構面倒だから、私は、その女性と喧嘩してしまうかもしれないが、機械が指定した子なら、喧嘩等しないか、喧嘩も想定内で、出会っているという状況かもしれない。

その女性とSEXで会っていたのに、違う女性ともしたくなったらどうするか。違う女性ともすればいい。恋人でも配偶者でもないのだから。「OK、グーグル、やらせてくれる違う女性を紹介して。」という感じで、どんどん新しい女性とやりたい。

ただ、SEXはマンネリ化して、だんだんやらなくなる可能性もあるから、その辺は機械の方が飽きさせないように試行錯誤してくれればいいと思う。

「今、この女性がおすすだよ。」とか、H（エッチ）ではないけれど、「この女性と結婚したら上手く行くよ。」と教えてくれたらいい。こういう機械は他にも、勝負事、勉強・・・等、他にもいくらでも応用可能だろうが、とりあえず自分だけが持つ機械でありたい。

2017年、プロ野球、ドラフト会議について

プロ野球では、日本シリーズを前にして、ドラフト会議が行われた。

注目は高校通算111本のホームランを打った、清宮幸太郎君である。(以下、清宮)。

私の好きな、巨人を含む、7球団(歴代2番目タイの多さ)によるクジ引きの競合となったが、日本ハムがクジを引き当て、交渉権を得た。

私は、1人でテレビを見ながら、「えー、また日本ハム、つまらないよ。」と喋っていた。

巨人に来てくれたら、1番プロ野球が盛り上がった可能性があったのだが、こればかりはしょうがない。

ただ、私は日本ハムの大谷翔平選手の使い方等も見ていたので、同じように、栗山監督が不思議な采配をするような気がして、日本ハムにテレビ、マスコミが注目していくのが嫌なのだ。

先ほど、清宮のインタビューを見ていたら、「不思議な采配をするから、興味深い。」と話していた。

大谷翔平が来シーズンから、メジャーリーグに挑戦するとしたら、日本ハムを入れ違いになる。

まあ、パ・リーグだから、ファーストが中田翔だとすると、DH(指名打者)で使うのかもしれないし、もしかしたら、最初は控えや2軍スタートという事も考えられる。中田をレフトに戻し、ファーストしか守れないかはわからないが、清宮をファーストで使うという事も考えられる。

今後、WBC等に、侍JAPANとして出ていく時、優秀な選手同士でポジションが被る事を考えると、ファーストとスペアで、もう1つポジションを守れるようにしておいた方がいい気もするが、王貞治さんも恐らく巨人時代、ファーストを守り続けたから、打撃力を落とさない為には清宮もファースト1本で行くのかは、栗山監督の考え次第になるだろう。

甲子園での1大会、ホームラン6本の新記録を放った、中村君(以下、中村)は、広島の高校の出身選手で、広島東洋カープに入団したかったそうだが、広島と中日が競合した結果、見事、広島が引き当てた。

中村はインタビューで、厳しく育ててくれる球団がいいと言っていたようで、頭もまだ丸刈りで精悍(せいかん)な顔をしていた。厳しく育てて欲しいという考えは、清宮も同じ気持ちらしい。私とは反対の考えといえば極端だが、このプロ野球という世界では、そういう人でないと成功しづらいのだろう。

西の怪物、安田はロッテが獲得した。

巨人は、名前は忘れたが、投手を獲得した。

やはり、良い意味で不気味なのは、横浜DeNAのアレックス・ラミレス監督だ。競合には参加せず、DeNAだけが1発でドラフト1位を単独で指名した。

さあ、清宮よ、日本ハム、メジャーで活躍して王さんを超えてくれ。怪我に気をつけて。

## クライマックス・シリーズ（C・S）について

私は、クライマックス・シリーズ（C・S）については、反対派である。

この日10月26日、日本経済新聞の権藤博さんの、コラムにも（C・S）反対というような記事が載っていた。

これは以前、落合博満さんも同じ事を言っていた。「リーグ優勝したセ・リーグとパ・リーグのチームが日本シリーズをするべきだ。」と。

だが、落合さんは、当時監督の時、2位になったが、そこから（C・S）を勝ち抜き、日本一にまでなったという説得力もある。

セ・パ共に15ゲーム差くらいつけてリーグ優勝しているのに、ソフトバンクは日本シリーズに進出したが、広島はDeNAに日本シリーズ進出を奪われた。

私は、巨人ファンで強かったから、今までBクラスの経験があまりなかったから、「ああ、今年も広島の優勝だ。」と思ったら、最後、よもや3位のDeNAを抜いたりしたが、結局4位に沈んだ。

私は、この時「どっちでもいいよ。」とは思わなかった。巨人は（C・S）に行けるなら行って欲しいと応援したが駄目だった。

ただ、私の根本はしつこいようだが、リーグ優勝をしたチームが、日本シリーズに行くという事にしないと駄目だと思っている。

例えば、メジャーリーグでは30球団位あって、ア・リーグとナ・リーグが15チームずつあると思うが、両リーグ、東地区、中地区、西地区等があり、首位のチームはプレーオフに進出できて、2位になった球団の勝率のトップが、ワイルドカードでプレーオフに参加できる形で、これは良い形だと思った。しかし、最近ワイルドカード争いが1チームだけでなく2チーム進出できる事になり、ワイルドカードの1位と2位が1発勝負でプレーオフに進出できる事になった。私はサッカーとかならともかく、野球という投手主体の競技で考えた場合、1発勝負だと良い投手がいる方が勝ち上がる可能性が高く、野球には向いてないスタイルの1発勝負だと思う。私はワイルドカードを1チームだけに戻して欲しい。投手複数制で考えると最低でも3試合制の2勝必要というのが、適していると思う。

まあ、確かに高校野球や甲子園大会等は、あれは47チーム近く集まるわけだから、1発勝負でもしょうがない。

WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）等でも、甲子園に近い1発勝負や、4戦で上位2位が進出等、投手主体の競技なのに、エース格2人を揃えたチームが優勝してしまうというのはザラにある。強くてライバルなのであまり書きたくないが、前回の第4回WBCでは、韓国は、イスラエルやオランダに敗れ、予選で敗退した。まあ、全チームにとって平等と考えればそれまでだが、野球はやはり、ペナントレースの様な戦いが一番適していると思う。でも世界戦は、それはそれで面白いけれど。

横浜DeNAのパブリックビューイングは異常に盛り上がったようだが、私は反対だ。

母が歳を取る事について

哀愁。

父が古希（70歳）を迎え、（北野武、星野仙一、山本浩二、田淵幸一）さん等とだいたい同じ。

母は女性なので（笑）年齢は書かないが、その辺り。

今日は、ファミリーレストランで食事をする為に、1人でいつものように店に向かったのだが、その入り口で老人のお婆さん3人が、「それじゃあ、また今度ね。」と話しているのを通りすがりで聞いた。

母には、今年2回位会ったが、まだ、見ていて、そこまで衰えたという感じはしなかった。

私は集まりが嫌いなので、今年から来年（2017～2018）も実家に帰るつもりはないが、まだ、元気なうちに、父や母とも外などで会っていきたいが、なかなかそんなチャンスもない。

というのは言い訳で、向こうから誘われる事もないから、こっちから誘わなければいけないのだが、私は常識というものがわからない。自分から誘わなければ、向こうからは誘ってこないものなのだろうか。それならこっちからもしないだけだ。

手紙にしても、こっちから送れば返してくれる人はいるが、向こうから率先して送ってくるという人はいない。

話が逸れた。

父や母には、こちらからアプローチしないと、逆に誘うきっかけもないのかもしれない。

まあ、「悠からは連絡は来ないのか、それならこっちからは誘う事もないな」、と思っているのかもしれない。（冗談、プロレスラー、内藤哲也選手の真似アレンジ）。

母も年老いていく。なんとかして、楽な方法で、例えば、母の方から私の家に来てもらってステーキを作ってもらう事はできないだろうか。

両親と思い出をたくさん作っておきたい。ただ、住んでいる家に距離はあるから、私は1日でバテテしまう。実家にも帰りたくないし。

だから、どこかで会うか、来てもらうしかない。

今日は、冒頭で書いたが、そういった、おばあさん達を見た時、母を思い出した。母はそのおばあさん達程、年老いてはいないと思うが、いつまで元気でいてくれるかはわからない。

思い出作りはいっぱいしたいが、逆に、ある程度は自分の力で生活していかないと、とは思っている。

母とは、私が思春期の頃、味方として。時に、爆発する自分の敵として、世の中と戦ってくれた戦友のようなイメージもある。母は戦友なんて聞いたら嫌かもしれないが。

マザコンではないが、母が山に行くときの布タイプの帽子が、とても似合っていてかわいかった。哀愁があった。

俺は最近、神様を信じている。運命とはあるのかもしれない。少しでも思い出を作ろう。

## おわりに

今日は、プロ野球のドラフト会議があり、清宮幸太郎君が巨人ではなく、日本ハムへの入団が決まった。その足でどンドン書いていたら、30ページ程の目標の枚数に到達したので、もう完成という事にした。

2日後から日本シリーズも始まるが、その前に完成したのは予想外だ。

30枚を約2週間で仕上げる事ができた。自分は結構スラスラ書ける方だと思ったが、生み出すのはなかなか難しく、パソコンを打つ手が止まる事もしばしばあった。

それよりも、アイデア、題、などのテーマがひとつも頭の中に浮かばず悩んだというのはだいぶあった。そういう日は翌日や先の日にすると、またアイデアが閃(ひらめ)いたりしたものだ。

今後、もし、こういう風に本の形も鍛えていけば、本を書く能力、巧さも身につく可能性もあるが、一方で、自分のHPの例えば、(プロレス、野球、サッカー・・・等)コラムに書きたい事が書けず、本に書くか、コラムに書くか、迷う事もあるだろう。

私もまだ、書いているものが、スポーツを書いたと思ったら、日常の事を書くとか、章分けて書いているわけではないので、そういう事も課題のひとつだろう。

本文でも少し触れたが、スポーツ以外でも、違う文野も広げれば、もっといろんな事を書ける可能性もあるが、政治や芸能・・・等、の事を書きたいとはあまり思わない。ただ、殻を破る意味では、もっといろんな事を知っていかななくてはいけないかもしれない。政治や芸能のそんな事も知らないの?という状態をかえって美德と考える面も私にはあるが、知識はあった方がいいのか?ない方がいいのか?は意外とわからない。

さて、私もこの作品、「題:俺の考え」「副題:岡本悠35歳のエッセイ集」を出した後は、どういう風な進路を取るべきか?本を作る事を鍛えるか?それとも、HPのコラムを今までのように出していくか?どっちに出しても、出さない方の文はもったいないと感じてしまうし、だから、出し惜しみせず両方書けばいいのかもしれない。

ただ、本は少し労力を使い、自分で何ページ書いたら完成で出すかという事も決めなくてはいけない。気が楽なのはHPの方になる。しばらくは私も休憩したいが、神の力のような物が私に行動させるニュアンスがある。それを突き破ってダラダラしている事はなかなかできない。だから、その気流に乗る事も大事なかもしれない。

よって、これからは、もっと知識を増やすとか、これは面倒だけど、外の風を感じるとか、文中にも書いたけれど、筋トレ等の健康面が大切になってくる、まあ、いつかウォーキングなんかをできるようになればいいけれど、今はそこまで手が回らない。

まあ、しばらくここ何日かは、ダラダラしながら日本シリーズを見る。パ・リーグ1位のソフトバンクと、セ・リーグ3位の横浜DeNAの戦い。年末はスポーツも忙しくなる。

これを出した後はどういう風にするかは、また自分で決めていきたいと思う。

読んでくださった皆さん、ありがとうございます。清宮幸太郎ドラフト会議の日より。(終)